

山梨県立特別支援学校うぐいすの杜学園
第2回学校運営協議会 議事録

日時：令和7年7月30日（水）15:30～17:00

場所：特別支援学校うぐいすの杜学園メディアルーム

第2回 学校運営協議会

- 1 はじめの言葉 進行：教頭
- 2 学校長挨拶
- 3 議事【議長：会長】
- （1）学校からの報告
- ①地域防災（一時避難所）の進捗状況について……資料なし
 - ②1学期の行事等の様子について（地域交流含む）…スライド投影
 - ③いじめに関するアンケート結果について……資料1
 - ④児童生徒アンケート「楽しい学校にするためのアンケート」について
……資料2
- （2）学校運営協議会委員からのご意見
- ①交流及び共同学習の推進について……資料3
 - ②いじめに対する生徒指導等について……資料なし
 - ③よりよい学校づくりについて……資料なし
- （3）2学期にむけて
- ・うぐいす祭等、学校行事について……資料なし
- （4）その他
- 4 連絡事項
- （1）今後の予定 第3回 11月19日（水）15:30～
 第4回 2月19日（木）15:30～
 - （2）その他
- 5 意見・懇談（各委員の方々から）
- 6 閉会の言葉

≪議事≫

（1）学校からの報告

①地域防災（一時避難所）の進捗状況について

- ・学校より、6月に行われた一時避難所の運営に関する打合せの報告があった。甲府市市議会議員や甲府市の防災企画課、市民課の方々と一時避難所運営マニュアルの確認を行いながら、具体的な役割分担を決定していき、避難所開設訓練を行いたいと考えていることの報告があった。

- ・委員からは、年度で担当者が変わることもあるため、マニュアル等資料として残して、引き継いでいくことが大切であると意見が出た。

② 1 学期の行事等の様子について

- ・学校より、1 学期に行われた避難訓練や地域交流をスライドで活動の様子を投影しながら報告があった。児童生徒の実態から直接的な交流は難しいが、今後も間接的な交流を工夫しながら、伊勢地区で生活している意識や地域貢献の意欲を高めていきたい等の説明があった。
- ・地域交流先の委員から、「プランターの花をたくさんいただいて、今もきれいに咲いています」と意見をいただいた。また、「プランターを渡しに来てくれたときに生徒と話すことができてよかった」とのことだった。

③ いじめに関するアンケート結果について

- ・学校より、7 月に児童生徒に調査したアンケートについて報告があった。生活支援を行っている子ども心理治療センターうぐいすの杜（以下、心理治療センター）と、毎日、相互に様子や児童生徒同士のやりとり、かかわりについても連携を密に行っていることが報告された。
- ・委員から、対人関係の苦手さがある児童生徒から挙がってきたいじめの報告について、どのように対応をしているのか質問があったため、次項で検討をすることとなった。

④ 児童生徒アンケート「楽しい学校にするためのアンケート」について

- ・学校より、7 月に実施した「楽しい学校にするためのアンケート」の結果について報告があった。本アンケートは毎学期末に行われるもので、児童生徒の変容をみとっていきたいことが挙げられた。
- ・委員より、項目の工夫や自由記述があることで児童生徒が要望を出せたという満足感もてるという意見があった。

(2) 学校運営協議会委員からのご意見

① 交流及び共同学習の推進について

- ・地域の公共施設の利用等、校外学習を行う場合は委員に声をかけていただければ協力をしたい。
→校外学習は児童生徒個々の学習や実態に応じて計画されているため、利用するときは協力を求めている。
- ・間接的な交流として、作品展示や地域清掃は良い方法だと考える。今後は作品展示してある場所へ見学に行ったり、作品展示の様子を写真や動画でフィードバックしたりと言う活動を取り入れることで、より児童生徒の達成感や所属感が生まれると考える。

② いじめに対する生徒指導等について

- ・いじめの多くは、児童生徒の実態として不安が強く、被害妄想的に感じることから攻撃性が強くなったり、きりかえが苦手ですごく関わってしまったり、悪気はなくても思ったことをそのまま口に出してしまったりして、相手に嫌な思いをさせてしまうことがある。その都度、生活担当（家庭）と情報共有し、振り返りをしながら言語化することで、児童生徒が友達に対してどのように振舞えばよいのか一緒に考えるようにしている。
- ・いじめと訴えた児童生徒の話だけではなく、双方の話をしっかりと傾聴し、状況把握についても一方的にならないように配慮する。時間はかかっても、当人同士が納得できるように返していくことが肝要。

- ・心理治療センターと学校は毎日2回の連携をおこなっているため、学校であったことや心理治療センターであったことなどを共有し、教員と職員が同じような対応をすることで一貫して心を育てていく。そのためには、まずは児童生徒の状況を受け止める。起こった事実だけではなく、その時々をの思いを教職員と共有していくことで、徐々に児童生徒自身が俯瞰して自分や相手の子を見られるようになっていくと考える。
- ・児童生徒同士の喧嘩のようなものも多いが、県教育委員会へいじめの件数報告はどのようにしているか？
→いじめの定義は「被害を受けている子が苦痛と感じたら」というものであるため、児童生徒アンケートや聞き取りから挙がってきたものはそのままの件数で報告をしている。喧嘩も適切な人間関係を作っていくための支援のチャンスととらえているため、道徳観や人への信頼等を個々に合わせて支援している。
- ・次回の学校運営協議会では、その時々での対応や支援方法について報告をもらえると、学校の様子を知ることができて、より深い検討ができると思われる。
→次回の学校運営協議会ではまとめて報告する。

③よりよい学校づくりについて

- ・うぐいす祭について、昨年の参加者から「すべての子どもたちが笑顔で頑張っていて、情緒不安定な様子は見られなかった」という話を聞いた。うぐいす祭等の行事は子ども達にとって大変なことなのだろうか？
→お客さんを招くことを楽しみにしている児童生徒は多い。しかし、その行事の前後に不安定になる。張り切りすぎて疲れてしまったり、自己肯定感の低さからうまくできないと不安になったりすることが多い。当日に不安定になったり、参加できなかったりといった失敗体験とならないように、児童生徒の様子をより心理治療センターと情報共有をして、活動量やかかわり方を調整するような取り組みにしている。
→参加される委員の皆様には、児童生徒と一緒に楽しんでもらいたいと考える。
- ・伊勢地区の文化展に作品展示参加をすることで、児童生徒の様子や学校の周知になると考える。作品展示をする場合は、委員より連絡をしておくので当日持参してほしい。
→出展を検討する。
- ・子どもたちの心のケアには食育も大事な要素であるため、アレルギー対応や食のこだわり等への活動について、心理治療センターの栄養士と連携をして進めてほしい。また、調理活動についても計画的に取り組んでほしい。
- ・うぐいすの杜学園にも読み書きの困難さを抱えている児童生徒が増えている。学習に対して苦手意識が高いことが予想されるが、個々に応じた丁寧な学習を行い、自身にあった学び方を身につけることに力を入れていただきたい。

(3) 2学期において

- ・学校より、2学期の行事予定を中心に報告があった。委員からは「ぜひ参加したい」という意見が多く出された。

(4) その他 → 特になし

《連絡事項》

- (1) 今後の予定 11月19日(水) 15:30～ 第3回学校運営協議会
 2月19日(木) 15:30～ 第4回学校運営協議会

《懇談・意見交換》

- ・時間の関係上、特になし。